

企業価値向上に向けたエンゲージメント活動

- 投資家の皆さまの声を社内改善・改革につなげる「エンゲージメントサイクル」に取り組むとともに、その内容を開示の充実化に活かすことを通じて企業価値の向上を目指しています。
- 社外エンゲージメントの継続・進化に加え、現場・グループ企業が一体となって資本市場と向き合うROIC経営の浸透等、社内改革の推進のため、社内エンゲージメントの発展・強化に取り組みます。

社外エンゲージメント

- 投資家等の皆さまとの積極的な対話・意見交換を実施
(2025年度:164件)
- 投資家等の皆さまと当社の各業務主管の担当者が一堂に会し、当社の人的資本やカーボンニュートラルに関する情報開示、IR活動の充実に向けた意見交換を実施



ESG意見交換会(2025年12月)

<投資家の声の一部>

- ✓ カーボンニュートラルの取り組みは、単なる羅列で分かりにくい開示も多い中、投資家目線の開示であり、対話ツールとしてもありがたい
- ✓ 中国地域ならではの取り組みの開示について、改善はしてきているものの一層のアピールを期待している

社内エンゲージメント

- 経営幹部等八月次で情報共有を行い、取締役会に対し年2回報告を実施
- ファイナンスからのアプローチで、社内(発電所・営業所等の現場を含む)に投資家・金融機関の声を届けることにより、グループ全体で企業価値の向上を目指すとともに社員の意識改革も目指す
(これまで52回実施、1,800人程度参加)



島根原子力発電所での勉強会(2025年6月)

<参加者の声の一部>

- ✓ 財務の観点からの原子力の稼働に対する期待が明確に理解できました。日々の取り組みに対する動機づけが行われたと感じた(原子力発電所)
- ✓ 金融機関・投資家がカーボンニュートラルを重要視することを理解し、自発電所の重要性につながり、所員のモチベーションが上がった(火力発電所)



株主・投資家との対話実績（2025年度）

〔2025年度の主な対話実施状況〕

対象	内容	件数	主な対応者
国内外の株主・投資家 （ファンドマネージャー、アナリスト、ESG担当、議決権行使担当等）	決算説明会（年度、第2四半期）	2件	社長、役員
	グループ経営ビジョン説明会	1件	社長、役員
	個別ミーティング （再掲：社債投資家対象）	164件 （56件）	役員、IR・SR担当部署、各ESG担当部署
	スモールミーティング （再掲：社債投資家対象）	2件 （2件）	IR担当部署、各ESG担当部署
	ESGミーティング	3件	役員、IR担当部署、各ESG担当部署
	施設見学会	4件	役員、IR担当部署

※社長および社外取締役とのスモールミーティングについては、2025年度は未実施となりましたが、2026年度は実施を予定しています。

〔2025年度における主な関心事項〕

項目	関心事項
経営・財務	<ul style="list-style-type: none"> 決算実績・業績見通し、競争環境、事業戦略、グループ経営ビジョン 島根原子力発電所の稼働スケジュールおよび審査・工事の進捗状況 送配電事業 配当・資本政策、資金調達
ESG	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素、気候変動、GX-ETS、循環型社会形成、自然との共生 人材戦略、人権、労働安全 地域社会との関係 取締役会・ガバナンス、企業倫理

〔経営層へのフィードバック〕

- 今年度は3回、株主・投資家の意見・要望等を取締役会へ報告
- 毎月、IR説明会・個別ミーティングの対話内容、市場・株価の分析内容等を、社外取締役を含めた経営層へ報告

〔対話を通じて改善した事項〕

- 株主・投資家の関心事項も踏まえたグループ経営ビジョンを策定（新たな財務目標・サステナビリティ目標の設定、マテリアリティの特定、PBR改善に向けた取り組みの開示、事業ポートフォリオ・キャッシュアロケーションの考え方の開示等）
- 統合報告書に、グループ経営ビジョンに込めた社長の思いや価値創造ストーリー等を提示、ESG等の非財務情報の開示項目の拡大・内容の充実を実施